



2017年5月

- P5 鈴木重雄(駒澤大):大学生による自然環境をテーマとする観光パンフレットの製作—熊谷市妻沼地区での取り組み—
- P6 外城真規\*・西澤喜一・柏木雄貴(立正大・学):福島県南会津郡只見町における山菜加工と流通
- P7 片柳 勉(立正大):学生主体による地域連携活動の展開と課題—熊谷市妻沼地区を事例として—
- P8 梅賀亮太(立正大・院):鹿児島市甲突町における内水氾濫による浸水の地域的特徴
- P9 伊東大樹・古寺祐樹・鹿野才志郎(立正大・学):長崎県島原市における観光実態
- P10 櫻沢雅哉・和泉 譲(立正大・学):建物形態からみる島原市中心市街地の町並み
- P11 高杉陽名・齊藤朋美・今井健太・桜井祐希(立正大・学):島原市中心市街地における湧水水質と水利用
- P12 飯山和也・落合俊介・中村俊一郎(立正大・学):島原城下町における河川・水路環境
- P13 原 美登里(立正大)・秋田貴廣(立正大)・小野田賢人・山下祐樹(熊谷市立江南文化財センター)・牧野隆夫(吉備文化財修復所)・愛染堂修理委員会:熊谷市星宮地域における学生を主体とした地域連携の成果
- P14 伊東大樹・阿部耕太郎・中島和哉・上條大介(立正大・学):スイスにおける観光案内に関する一考察

《総会》11:05～11:45

《昼休み》11:45～12:35 A201 教室にて、展示・販売の予定です。

《ESRI JAPAN によるデモ》12:20～12:35

《ポスター発表のコアタイム》12:35～13:05

《口頭発表2》13:05～14:25

※口頭発表は交代の時間を含めて20分(発表15分、質疑応答4分)。\*は発表者。

- A5 13:05～13:25 森田匡俊\*(岐阜聖徳学園大)・小池則満(愛知工業大):学校防災活動におけるPDCAサイクル確立のためのGPS利用に関する研究
- A6 13:25～13:45 小林瑞輝(立正大・外):高等学校地理教育における野外学習の実施状況とその要因
- A7 13:45～14:05 元木理寿\*(常磐大)・市村卓司(常磐大学高):高大連携授業による地域理解のためのESD
- A8 14:05～14:25 松尾忠直\*(立正大)・高田明典((一財)日本地図センター):ドローンによる景観の記録と教材化の試み

《休憩》14:25～14:35

《口頭発表3》14:35～15:35

※口頭発表は交代の時間を含めて20分(発表15分、質疑応答4分)。\*は発表者。

A9 14:35～14:55 遊佐順和(札幌国際大短期大学部):函館西部地区バル街による  
地域力の創出

A10 14:55～15:15 石原 肇(大阪産業大):大阪府の「八尾バル」における地産地消の  
取組

A11 15:15～15:35 岡田 登(鹿児島県立短大):鹿児島市におけるバルイベントを通じた  
地産地消の取組

《休憩》15:35～15:45

《会長講演》15:45～16:45 横畠康吉(徳島大・非):『米国北西部の移民農業(仮)』

《懇親会》17:00～18:45 学生食堂 ステラ(1階)で行います。

《地理写真の展示》※掲示時間は10:00～15:00,

掲示場所は会場の掲示をご覧ください。

G1 稲村明彦(産業技術総合研究所):埼玉県入間川下流域における洪水の痕跡と旧堤

G2 青木訓穂(JAさがみ)・小田巻 滋(横浜中華学院):港区の低地と台地を歩く

G3 土屋貴彦(共栄アルミ工業株式会社):群馬県伊勢崎市境島村地区における伝統的な  
養蚕農家が作り出す集落景観

G4 小林瑞輝(立正大・外)・森本 拓(中央開発株式会社)・岡部将大(栃木県庁):能登  
半島沿岸地域の地理的景観

G5 郷原裕生(立正大・院)・梅賀亮太(立正大・院)・沈 亜如(Asian Express Service):  
大連の都市景観

G6 高橋宏光(協和コンサルタンツ)・郷原裕生(立正大・院):復興、三陸を訪ねて

G7 飯山和也(立正大・学):宇都宮市上田地区における洗い場の残る水路景観

G8 多田統一(東京都教育支援ボランティア):“研究所めぐり”と地理学・地理教育

G9 高杉陽名・飯山和也・落合俊介・園田航星・堀口佳織(立正大・学):Zurichの水環境

G10 飯山和也・高杉陽名・落合俊介・園田航星・堀口佳織(立正大・学):Bernの水環境

G11 落合俊介・高杉陽名・飯山和也・園田航星・堀口佳織(立正大・学):Zermattの水環境

G12 長谷川樹生・鈴木しおり・望月奏岐・遠藤美果・高柳裕紀(立正大・学):スイスの  
食文化

G13 岩谷恭弥・小熊勇輝・豊田芹華(立正大・学):スイスの交通事情

G14 鈴木悠太・神田成晶・鎌田成美(立正大・学):スイス Zurich・Bern・Zermatt の町並み

G15 木下友樹・大野拓海・水野友里花(立正大・学):スイスの山と花

G16 原 美登里(立正大)・秋田貴廣(立正大)・小野田賢人・山下祐樹(熊谷市立江南文化財センター)・牧野隆夫(吉備文化財修復所)・愛染堂修理委員会:熊谷市星宮地域における愛染明王像移設式

G17 小野田賢人・原 美登里(立正大)・秋田貴廣(立正大)・山下祐樹(熊谷市立江南文化財センター)・牧野隆夫(吉備文化財修復所)・愛染堂修理委員会:熊谷市星宮地域における愛染堂落慶式

## ○秋季例会(東京)・講演会・臨地研究会開催のお知らせ(第1報)

第40回立正地理学会秋季例会ならびに第47回講演会(予定)を12月2日(土)に、臨地研究会を12月3日(日)に、立正大学品川キャンパスにて開催する予定です。詳しい日時・場所・発表申込みに関するご案内は、8月上旬頃、立正地理学会ホームページ(<http://geo.rissho-map.jp>)にてお知らせします。皆様の参加をお待ちしております。

## ○第48回講演会のお知らせ(第1報)

第48回講演会(予定)を11月または12月に、立正大学熊谷キャンパスにて開催する予定です。詳しい日時・場所に関するご案内は、8月上旬頃、立正地理学会ホームページ(<http://geo.rissho-map.jp>)にてお知らせします。皆様の参加をお待ちしております。

## ○臨地研究会の募集

今年度、臨地研究会の開催される研究委員会やグループは、5月22日(月)までに以下の内容を明記した実施案を作成し、集会委員会([geosoc@ris.ac.jp](mailto:geosoc@ris.ac.jp))へ提出してください。

- 1) 案内者(代表者がわかるようにしてください)
- 2) テーマ(具体的なテーマを示してください)
- 3) 概要(500字を限度として概要を示してください)
- 4) 案内するルート(集合場所・昼食場所・解散場所を明記してください)

- 5) 学会ニュースやホームページに掲載する原稿(過去のニュースを参考に作成してください)
- 6) 申し込みの受付をする会員の氏名、所属、連絡先(メールアドレス)
- 7) 費用等の概算

※実施案はページサイズ A4(書式自由)の PDF でメールに添付し提出してください。

※傷害保険等の契約は案内者の方が代表して保険会社と手続きしてください。申し込みの取りまとめ、現地での見学の手続き等、臨地研究会に関わる一切の諸手続きは、案内者の方が行ってください。

※申し込みの内容を協議の上、開催の可否をお知らせいたします。

※臨地研究会運営費として、徒歩を中心とする場合には 25,000 円、貸し切りバスをチャーターする場合には 50,000 円が補助されます。

## ○会員継続のご案内

2016 年度に立正大学地球環境科学部地理学科を卒業された皆様に、立正地理学会の会員継続のご案内をいたします。

会員種別と年会費は、大学院などに進学された方は学生会員(年会費 2,500 円)、その他の方は一般会員(年会費 4,000 円)となります。

会員継続の申請は、立正地理学会ホームページに記載されているメールアドレスからもお申し込みができます。

皆様お誘いあわせの上、ぜひお申し込みください。

## ○会費納入のお願い

2017 年度分の会費は、同封致しました払込取扱票にてご納入いただくか、立正地理学会総会・研究発表大会当日に、受付にて納入いただきたく存じます。また、今回の学会ニュースには「会費納入状況のお知らせ」を同封しましたのでご確認いただき、過年度分の会費が未納の方は、あわせてご納入願います。会費の金額および郵便振替口座の番号・加入者名は下記の通りです。

一般会員 4,000 円    学生会員 2,500 円  
00130-8-13453 立正地理学会

なお、他の金融機関からお振込みされる際にご指定頂く口座は、以下の通りです。お振込みの際は、振込人氏名が会員ご本人の氏名となっておりますことをご確認頂きますよう、お願い申し上げます。

銀行名	ゆうちょ銀行
金融機関コード	9900
店番	019
店名(カナ)	〇一九店(ゼロイチキュウ店)
預金種目	当座
口座番号	0013453
カナ氏名(受取人名)	リッショウチリガクカイ

※学会ニュースや地域研究などの送付先の変更が生じましたら、お早めに立正地理学会までご連絡下さい。また、住所変更のご連絡がなく、新住所のみご記入され、氏名のご記入のない場合には、どなたのお振込みか不明となります。ご入金の際は、払込取扱票の払込人住所氏名の欄に必ず住所と氏名をご記入頂きますよう、お願い致します。

(庶務会計委員会)

#### 編集後記

桜の季節も終わり、熊谷キャンパスの木々が新緑で色づく季節が訪れてきました。本年度も広報委員会は、紙面の充実のため会員の皆様にインタビューや記事の投稿をご依頼させていただくことがあるかと思えます。その際は、ぜひご協力いただけますよう、よろしくお願いいたします。

(広報委員 飯山和也)

#### 立正地理学会ニュース No.120

2017年5月15日発行 編集者 立正地理学会広報委員会  
発行者 立正地理学会 〒360-0194 熊谷市万吉1700 立正大学地理学教室内  
電話 048-539-1672 振替 00130-8-13453